

《陸上競技》

◎男女別・年齢区分別

△男女混合・年齢区分なし

障害区分		50m	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	立幅跳	走幅跳	ソフト ボール投	ジャベリック スロー	ピッチ 投げ	4×100m リレー	
肢体不自由	1 上肢	1 手部切断 片前腕切断、片上肢不完全 片上腕切断、片上肢完全	◎注1	◎注1				◎		◎注2	◎注2	◎注3	◎注3		
		2 両前腕切断、片前腕・片上腕切断 両上肢不完全	◎注1	◎注1						◎注2	◎注2				
		3 両上腕切断、両上肢完全	◎注1	◎注1						◎注2	◎注2				
		下肢	4 片下腿切断、片下肢不完全	◎注1	◎注1						◎注2	◎注2	◎注3	◎注3	
			5 片大腿切断、片下肢完全	◎注1	◎注1						◎注2	◎注2	◎注3	◎注3	
			6 両下腿切断	◎注1	◎注1						◎		◎注3	◎注3	
			7 片下腿・片大腿切断 両下肢不完全	◎							◎		◎注3	◎注3	
			8 両大腿切断、両下肢完全										◎	◎	
	体幹 注6	9 体幹	◎注1	◎注1						◎注2	◎注2	◎注3	◎注3		
	2 脳原性麻痺以外の 車椅子常用、使用	10 第6頸髄まで残存	◎注1	◎注1					◎					◎	
		11 第7頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎	◎					◎	
		12 第8頸髄まで残存							◎			◎注3	◎注3		
		13 下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎		◎					◎注3	◎注3		
		14 下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎		◎	◎				◎注3	◎注3		
	15 その他の車椅子										◎注3	◎注3			
	3 脳原性麻痺 (脳性麻痺・脳血管疾患・脳外傷等)	16 四肢麻痺で車椅子使用	◎						◎					◎	
		17 けて移動	◎						◎					◎	
		18 片上下肢で車椅子使用	◎						◎			◎注3	◎注3		
		19 上肢で車椅子使用	◎注1	◎注1	◎		◎	◎	◎			◎注3	◎注3		
		20 その他走不能										◎注3	◎注3		
		21 上肢に不随意運動を伴う走可能	◎注1	◎注1	◎			◎		◎注2	◎注2	◎注3	◎注3		
		22 その他走可能	◎注1	◎注1	◎			◎		◎注2	◎注2	◎注3	◎注3		
	4	23 電動車椅子常用							◎					◎	
視覚障害 注7	24 視力0から0.01まで 注8	◎注1	◎注1	◎		◎	◎		◎注2	◎注2	◎注3	◎注3			
	25 その他の視覚障害	◎注1	◎注1	◎		◎	◎		◎注2	◎注2	◎注3	◎注3			
聴覚・平衡、音声・言語・そしゃく機能障害	26 聴覚障害	◎注1	◎注1	◎		◎	◎		◎注2	◎注2	◎注3	◎注3			
知的障害	27 知的障害	◎注1	◎注1	◎	◎	◎	◎		◎注2	◎注2	◎注3	◎注3	△注5		
内部障害 注4	28 ぼうこう又は直腸機能障害	◎					◎		◎注2	◎注2	◎注3	◎注3			

注1. 競争競技は50mと100mの両方に申し込むことはできない。

注2. 跳躍競技は立幅跳と走幅跳の両方に申し込むことはできない。

注3. ジャベリックスローとソフトボール投は両方に申し込むことはできない。

注4. 内部障害はぼうこう又は直腸機能障害のみとする。

注5. 区分28のリレーは男女混合とする。

注6. 体幹とは頸部、胸部、腹部及び腰部（脊柱）のみに変形がある者（脊椎カリエス等による体幹の障害が該当する）四肢の機能障害に伴う場合は体幹の機能障害あってもこの区分には該当しない。

注7. 視力は「矯正後の両眼視力」の和で判定する。視力の和を算出する際、光覚弁、手動弁は視力0、指数弁は視力0.01とする。

注8. 障害区分24は光を通さないアイマスクを装着する。

《水泳》

◎身体1部、2部、知的 ○身体1部 ●身体2部

障害区分			自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ		
			25m	50m	25m	50m	25m	50m	25m	50m	
肢 体 不 自 由	1	上肢	1 手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○
		2 片前腕切断、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		3 片上腕切断、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		4 両前腕切断、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		5 両上腕切断、両上肢完全 片前腕・片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
	下肢	6 片下腿切断、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		7 片大腿切断、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		8 両下腿切断、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		9 両大腿切断、両下肢完全 片下腿・片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎		
	上下肢	10 片上肢切断・片下肢切断 片上肢不完全・片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎		
		11 多肢切断、片上肢完全・片下肢完全 両上肢不完全・両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎		
	体幹	12 体幹	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
2	脳原性麻痺以外の車椅子使用	13 第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎				
		14 第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		15 下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		16 下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
3	脳原性麻痺 (脳性麻痺・脳血管疾患・脳外傷等)	17 四肢麻痺(車椅子常用)または、 上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎				
		18 両下肢麻痺 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		19 片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎		
		20 その他の片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		21 その他走可能	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
4		22 浮具使用	◎	◎	◎		◎				
視覚障害 注1			23 視力0から0.01まで 注2	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			24 その他の視覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○
聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく機能障害			25 聴覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○
知的障害			26 知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

注1. 視力は「矯正後の両眼視力」の和で判定する。視力の和を算出する際、光覚弁、手動弁は視力0、指数弁は視力0.01とする。

注2. 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

《卓球》

◎男女別 年齢区分別

障害区分			一般卓球	STT	
肢体不自由	1	上肢障害	1 片上肢障害	◎	
			2 両上肢障害	◎	
		下肢障害	3 片下腿切断、片下肢不完全	◎	
			4 片大腿切断、両下腿切断 片下肢完全、両下肢不完全	◎	
			5 片下腿・片大腿切断 両大腿切断、両下肢完全	◎	
			6 体 幹	◎	
	2	脳原性麻痺以外の車椅子 常用、使用	7 第8頸髄まで残存 注1	◎	
			8 座位バランスなし	◎	
			9 その他の車椅子	◎	
	3	脳原性麻痺 (脳性麻痺・脳血管疾患・脳外傷等)	10 車椅子使用	◎	
			11 杖・松葉杖使用	◎	
			12 上肢に不随意運動あり	◎	
			13 上肢に不随意運動なし	◎	
			14 片側障害	◎	
	視覚障害 注2	15 アイマスク有り		◎	
		16 アイマスク無し	◎		
	聴覚・平衡機能、音声・言語機能・そしゃく機能障害	17 聴覚障害	◎		
	知的障害	18 知的障害	◎		
	精神障害	19 精神障害 ※オープン種目	◎		

《アーチェリー》

◎男女別 ●男女別

障害区分			リカーブ [30mW]	コンパウンド [30mW]	
肢体不自由	脳原性麻痺以外で車椅子常用	1 第8頸髄まで残存 注1	◎ 注3	●	
		2 その他の車椅子	◎ 注3		
	切断・機能障害	3 上肢障害	◎ 注3	●	
		4 下肢障害 (椅子、車椅子使用を含む)	◎ 注3		
		5 体 幹	◎ 注3		
	脳原性麻痺 (脳性麻痺・脳血管疾患・脳外傷等)		6 脳原性麻痺		◎ 注3
	聴覚・平衡機能、音声・言語機能・そしゃく機能障害		7 聴覚障害		◎ 注3
	内部障害		8 ぼうこう又は直腸機能障害		◎ 注3

《フライングディスク》

◎男女同一区分 ●男女別

障 害	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
肢体不自由				
視覚障害				
聴覚障害	◎	◎	●	●
知的障害				
内部障害 (ぼうこう又は直腸機能障害)				

注1. 第6頸髄まで残存および第7頸髄まで残存も出場可能

注2. 視力・視野の程度に関わらず、アイマスクの有無で出場競技を分ける。

注3. 平成30年度より、リカーブ部門において年齢区分を撤廃とする。